

令和4年度(2022年度)

長門地域農林水産業・農山漁村きらめきレポート



令和5年(2023年) 8月

長門地域農林水産業・農山漁村振興協議会



# 目 次

## 第1 未来を担う人材や中核経営体の確保・育成

### 【中核経営体の育成と経営基盤の強化】

- 農業中核経営体の育成（農業部）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 林業中核経営体の育成（森林部）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 中核漁業経営体の育成（水産部）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

### 【新規就業者の確保・定着】

- 新規就農・就業者の確保・育成（農業部）・・・・・・・・・・・・ 4
- 新規林業就業者の確保・育成（森林部）・・・・・・・・・・・・ 5
- 新規漁業就業者の確保・育成（水産部）・・・・・・・・・・・・ 6

### 【農山漁村女性リーダー・女性経営参画者の育成】

- 次世代女性リーダーの育成（農業部）・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 漁村女性リーダー・女性経営参画者の育成（水産部）・・・・・・ 8

## 第2 生産意欲と需要を創造する「ぶちうま！維新」

### 【長門産農林水産物のブランド力強化】

- 地元産農林水産物等のPR・販売促進（企画振興室）・・・・・・ 9

### 【地産・地消の取組強化 及び6次産業化・農商工連携の一体的な取組強化】

- 推進拠点の拡大、学校給食での利用拡大等（企画振興室）・・・・ 10
- 県産木材の利用促進（森林部）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

## 第3 需要に的確に応える生産力の増強

### 【需要のある農畜産物の結びつき強化・生産拡大】

- 主穀及び園芸作物の結びつき強化、生産拡大（農業部）・・・・・・ 12
- 地域特性を踏まえたスマート農業技術の導入支援（農業部）・・・・ 13
- 高品質なやまぐち和牛の生産拡大（畜産部）・・・・・・・・・・・・ 14
- 長州黒かしわの生産拡大とブランド力向上（畜産部）・・・・・・ 15

### 【需要に応える木材供給力の強化】

- 効率的な素材生産システムの構築（森林部）・・・・・・・・・・・・ 16

### 【水産資源の適切な管理による漁業生産力の向上】

- 水産資源の適切な管理による漁業生産力の向上（水産部）・・・・ 17

## 第4 生産や地域を支える基盤整備・防災力強化

### 【生産基盤の整備】

- 水田高機能化対策の推進（農村整備部）・・・・・・・・・・ 18

### 【生産基盤の整備】、【防災・減災機能の強化】

- 生産基盤の整備・防災減災機能の強化（水産部）・・・・・・・・ 19

### 【鳥獣被害防止対策の強化、対策技術の普及】

- 鳥獣被害防止対策の強化の推進（農村整備部）・・・・・・・・ 20

### 【やまぐち森林づくり県民税の活用】

- やまぐち森林づくり県民税を活用した森林の整備（森林部）・・・・ 21

### 【多面的機能の維持・発揮】

- 多面的機能支払制度の推進（農村整備部）・・・・・・・・・・ 22

- 山口型放牧の推進（畜産部）・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

### 【防災・減災機能の強化】

- ため池の整備の推進（農村整備部）・・・・・・・・・・・・ 24

## 第1 未来を担う人材や中核経営体の確保・育成

### 【 中核経営体の育成と経営基盤の強化 】

## 農業中核経営体の育成

### 1 考え方

今後、10年間の長門地域農業を牽引することのできる中核経営体の確保に向け、集落営農法人や一戸一法人、集落営農法人連合体、農業参入企業など多様な法人経営体の育成と経営基盤の強化を支援します。

### 2 令和4年度の取組

#### (1) 中核経営体の育成

大規模経営農家等の法人化支援を行い、新たに農業中核経営体が4法人増加し、49法人となりました。



新規設立した集落営農法人の麦播種作業

#### (2) 集落営農法人連合体の育成と経営基盤の強化

平成29～30年度に設立された3つの集落営農法人連合体（株長門西、株三隅農場、株アグリベンチャー俵山）では、航空防除等の受託作業や水稻育苗等の取組が進みました。株三隅農場では、新規事業として大豆収穫作業を開始しました。

#### 各連合体の事業展開の状況<令和4年度>

連合体名	航空防除	水稻育苗	その他
(株)長門西	268 ha	3,974 箱	機械作業受託
(株)三隅農場	295 ha	3,950 箱	大豆収穫 15ha
(株)アグリベンチャー俵山	111 ha	9,427 箱	



大豆収穫作業(株三隅農場)



## 第1 未来を担う人材や中核経営体の確保・育成

### 【 中核経営体の育成と経営基盤の強化 】

## 林業中核経営体の育成

### 1 考え方

中小企業診断士を招いた経営診断により中核経営体の経営基盤強化を図ります。

### 2 令和4年度の実施

中核経営体の経営力向上を図るため、山口県西部森林組合に対し、中小企業診断士を招いた経営診断（年5回）を行いました。

経営診断では、「雇用形態の見直し」や「組織の在り方」について、県内先進中核経営体へのヒアリングや幹部職員との協議等が行われました。

この取組により、中核経営体の質的向上が図られることを期待します。



中核経営体の経営診断

## 第1 未来を担う人材や中核経営体の確保・育成

### 【 中核経営体の育成と経営基盤の強化 】

## 中核漁業経営体の育成

### 1 考え方

地域のリーダーとなる漁業士を育成するとともに、漁業者グループの共同経営化等を通じた収益性向上に結びつく取組や雇用型漁業の経営基盤強化を推進することにより、地域を牽引する中核漁業経営体を育成します。

### 2 令和4年度取組

県漁協大浦支店の漁業者グループが実施した県内初のアカウニ試験養殖に係る取組みを支援したほか、新たに創設された油谷地区の漁業者グループによる収益性向上に向けた取組みを支援しました。



アカウニ試験養



急速冷凍庫・真空包装機

## 第1 未来を担う人材や中核経営体の確保・育成

### 【 新規就業者の確保・定着 】

## 新規就農、就業者の確保・育成

### 1 考え方

関係機関等と連携し、研修生の募集から受入れ、就農・就業、定着までの一貫した支援を行います。

### 2 令和4年度の取組

管内で11名の新規就業者が確保されました。

#### (1) 法人就業支援

県立農業大学校において、長門大津地区農業法人連絡協議会の主催で、法人就業を促進するため、初めての法人説明会が開催され、6法人が参加しました。



法人説明会の様子

#### (2) 自営就農支援

新規就業ガイダンス等を通じて、就農希望者に対して、長門市での就農をPRするとともに、支援メニューの説明等を行いました。



新規就業ガイダンスの様子



## 第1 未来を担う人材や中核経営体の確保・育成

### 【 新規就業者の確保・定着 】

## 新規林業就業者の確保・育成

### 1 考え方

就業促進専門チーム（市、森林組合、リフォレながと、農林水産事務所で構成）を中心に、高校生を対象とした出前授業の開催や就業ガイダンス等の参加により、新規就業者の確保、定着を推進します。

### 2 令和4年度の取組

確実な事業遂行のためには、安定した労働力が必要ですが、近年、作業従事者の減少や新規就業者の確保、定着が進まず、労働力対策が急務となっています。

出前授業では、大津緑洋高等学校1年生46人に対し、「林業の仕事」等の授業を行い、また、就業ガイダンスでは、相談者2人に対し、森林組合の業務概要等の説明をするなど、各種支援に取り組んだ結果、7名の新規就業者を確保しました。



高校生を対象とした出前授業



就業ガイダンス

## 第1 未来を担う人材や中核経営体の確保・育成

### 【 新規就業者の確保・定着 】

## 新規漁業就業者の確保・育成

### 1 考え方

募集から研修・就業・定着までの一貫した支援体制により新規就業者を確保するとともに、就業後の収入安定化対策を実施し、地域への定着を促進します。

### 2 令和4年度の実績

関係機関と連携を密に取り、事前の検討から就業、定着までの継続的なサポートに努めました。本年度は、独立型1名（仙崎地区）、雇成型1名（通地区）の長期研修及び乗組員2名（通地区1名、仙崎地区1名）のOJT研修を支援しました。

また、独立後間もない新規就業者（川尻地区1名）の自立化に向けたフォローアップを行いました。



研修終了ヒアリング（独立型）



研修終了ヒアリング（雇成型）

## 第1 未来を担う人材や中核経営体の確保・育成

### 【 農山漁村女性リーダー・女性経営参画者の育成 】

## 次世代女性リーダーの育成

### 1 考え方

地域づくりや生産活動を担ってきた女性リーダーの高齢化が進む中、経営参画者として活躍し、地域活動を支える次世代の女性リーダーの発掘・育成を図ります。

### 2 令和4年度の実績

長門地域をリードする経営体において、経営者等として、中心的な役割を担う女性農業者の育成に向け、「ながとステキ女子会」の開催等により経営参画意欲の醸成を図りました。



「ながとステキ女子会」開催の様子

## 第1 未来を担う人材や中核経営体の確保・育成

【 農山漁村女性リーダー・女性経営参画者の育成 】

### 漁村女性リーダー・女性経営参画者の育成

#### 1 考え方

管内の漁協女性部の組織的な活動はコロナ禍もあり近年低調傾向でした。

このため、漁村生活改善士をはじめとした漁村女性リーダーの育成に努め、組織活動の再活性化に向けた支援を実施していきます。

#### 2 令和4年度の取組

リーダー研修会や農山村女性との連携交流会のほか、低利用水産物の有効活用に向けた製品開発等の女性部活動を支援しました。



未利用水産物の加工作業



試作品(ウニ飯・うにのにぎり)



## 第2 生産意欲と需要を創造する「ぶちうま！維新」

### 【長門産農林水産物のブランド力強化】

## 地元産農林水産物等のPR・販売促進

### 1 考え方

長門地域地産・地消推進委員会を中心として、市内の販売協力店や販売協力専門店、地元マスメディア等を通じて地元農林水産物及び加工品のPR・販売拡大に取り組み、利用促進を図ります。

### 2 令和4年度の取組

#### (1) 地産・地消推進拠点の拡充と販売促進活動支援

販売協力専門店「fleur 縁」による県産花きPR・販売活動を支援しました。

販売協力店には、販促資材の作成、配布を行い、販売活動を支援しました。

また、「長門の美味しい朝ごはんレシピ集 vol.2」を作成し、販売協力店や市内各施設等で配布・PRを行いました。



「花と遊ぼう！学ぼう！」における県産花きPR



レシピ作成・PR

#### (2) 地元CATV・FMラジオと連携した地元産農林産物等の紹介

ほっちゃテレビ、FMアクアなど地元のメディアと連携し、長門市内で生産される農林産物を中心に市民に対する情報発信を行いました。

ほっちゃテレビでのPR



#### (3) 観光イベントと連携した地域食材PR

長門市内で開催されたイベント(ONSEN ガストロノミーウォーキング in 俵山、ながとブルーオーシャンライド)と連携し、やまぐちブランド(長州黒かしわ・長門ゆずきち・はなっこりー)や地元食材を使ったメニュー提供に取り組みました。



はなっこりー等を使ったメニュー提供



## 第2 生産意欲と需要を創造する「ぶちうま！維新」

【 地産・地消の取組強化 及び6次産業化・農商工連携の一体的な取組強化 】

### 推進拠点の拡大、学校給食での利用拡大等

#### 1 考え方

地産・地消に取り組む推進拠点の拡大、学校給食における地元産食材の利用拡大のほか、関係機関との連携により生産者等の6次産業化・農商工連携の取組を支援します。

#### 2 令和4年度の取組

##### (1) 地産・地消推進拠点の拡大

新たにやまぐち食彩店3店舗(餅工房はんなりの里、KULABO 大正館レストラン 360、kitchen&cafe nonta)、販売協力専門店1店舗(四代目大小)を開設しました。

長門地域のやまぐち食彩店は27店舗、販売協力専門店は3店舗となり、今後とも、県産農林水産物の利用拡大を図っていきます。



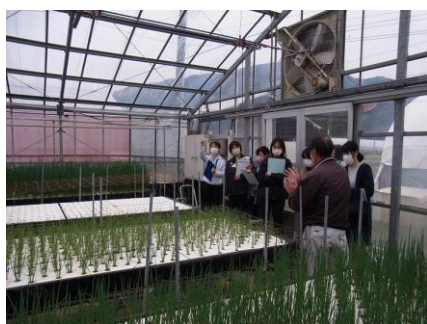
やまぐち食彩店開設

販売協力専門店開設

##### (2) 学校給食での地元産食材利用拡大の取組

地元産食材利用拡大に向け生産・産地情報などを共有する会議や、学校給食関係者と生産者との情報交換を行う産地見学会を開催し、県下でも高い地元産食材使用率となりました。

また、食育活動の推進として、市内小中学校において出前授業を実施しました。



学校栄養士による産地見学会



食育出前授業

##### (3) 6次産業化・農商工連携の一体的な取組強化

県、市、農林水産関係団体など関係機関と情報を共有し、支援体制の連携を図りました。また、商品開発事業者等に対し、やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンターが実施する各種研修等の情報提供を行いました。

## 第2 生産意欲と需要を創造する「ぶちうま！維新」

【 地産・地消の取組強化 及び6次産業化・農商工連携の一体的な取組強化 】

### 県産木材の利用促進

#### 1 考え方

県産木材（地域産木材）の利用に関する情報提供に努め、民間住宅や公共建築物等における木材の需要拡大を図るとともに、素材としての木材の多様な利用を図るため、間伐材の利用や用途開発、木材加工体制の整備等について取り組んでいます。

#### 2 令和4年度の取組

##### (1) 民間分野での取組

- ・「やまぐち木の家」の住宅助成：長門市3棟
- ・「ながと型住宅」の住宅助成：5棟

##### (2) 公共建築分野での取組

公共建築物等における県産木材の更なる利用拡大を図るため、木材利用推進会議の開催や木材利用の知識取得、情報収集を行いました。

- ・豊田流域木材利用推進会議の開催
- ・「農林業の知と技の拠点施設 連携・交流館構造見学会」：防府市
- ・「やまぐちの中大規模木造建築 構造設計者養成講座」：宇部市他（一部聴講参加）

##### (3) 「やまぐちブランド」の取組

シイの木の高付加価値化を図るため、品質にすぐれた製品として、広葉樹単層フローリングの「シイの木フローリング」が「やまぐちブランド」に登録されています。今後、さらなる利活用を推進します。



ながと型住宅



シイの木フローリング（長門おもちゃ美術館）



### 第3 需要に的確に応える生産力の増強

【 需要のある農畜産物の結びつき強化・生産拡大 】

## 主穀及び園芸作物の結びつき強化・生産拡大

### 1 考え方

生産者の所得確保を図るため、需要先との結びつきを強化するとともに、中核経営体を中心に、主穀や園芸作物の生産拡大を図ります。

### 2 令和4年度の取組

#### (1) 水稲、麦、大豆の生産拡大

水稲（主食用米含む）、麦、大豆は集落営農法人を中心に生産されており、栽培講習会の開催や定期的な技術情報の発信など、タイムリーな技術指導・情報提供を通じて安定生産を支援しました。

大豆の難防除雑草である帰化アサガオ類について、防除技術の普及に取り組みました。



除草剤散布用吊り下げノズル



雑草対策を実施したほ場

#### (2) 園芸品目の生産拡大

集落営農法人を中心に「キャベツ」、「はなっこりー」、「たまねぎ」、「にんじん」等の園芸品目が栽培されており、加工・業務用や学校給食用の出荷に向けた生産を支援しました。



キャベツ栽培の様子

### 第3 需要に的確に応える生産力の増強

【 需要のある農畜産物の結びつき強化・生産拡大 】

## 地域特性を踏まえたスマート農業技術の導入支援

### 1 考え方

管内は中山間地域が太宗を占めますが、こうした条件下にあっても、省力化や収益向上（収量向上等）が可能となるよう、生産性の向上が期待できるスマート技術の導入に向けた実証を行います

### 2 令和4年度の実証

#### (1) 集落営農法人でのスマート農業機械の技術実証

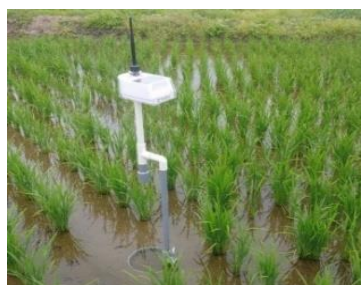
市、農協と連携して、集落営農法人での各種スマート農業技術の実証に取り組みました。



収量食味コンバイン



ラジコン草刈り機



水位センサー



水稻直播（ドローン）

#### (2) 集落営農法人へのスマート農業技術の導入支援

集落営農法人等へのスマート農業機械の導入支援に取り組みました。



直進アシスト機能付き田植え機

### 第3 需要に的確に応える生産力の増強

【 需要のある農畜産物の結びつき強化・生産拡大 】

## 高品質なやまぐち和牛の生産拡大

### 1 考え方

長門地域は、山口県の肉用牛飼養頭数の11%（1,628頭/14,926頭）、繁殖牛飼養頭数の18%（836頭/4,638頭）を占める和牛の生産地域です（R5.2.1）。しかし、高齢化により飼養頭数、農家戸数は減少傾向にあることから、減少に歯止めをかけ和牛の生産拡大を図ります。

### 2 令和4年度の取組

#### (1) 担い手の確保・育成

- ・若手農家を対象とした経営勉強会を開催しました。
- ・大津緑洋高校の第6回和牛甲子園出場への取組を支援しました。

#### (2) 生産性向上対策

##### ① 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）

平成27年度からの累計26機種を整備しました。それらの機械が有効活用されるよう長門大津畜産振興協議会と連携してフォローアップを行いました。

##### ② キャトルステーションの推進

キャトルステーションの実証を支援しました。

#### (3) 高品質化対策

やまぐち和牛の一層の高品質化を進めるため、家畜人工授精師をはじめ関係者へ優れた能力を有する県有種雄牛を広くPRしました。

#### (4) 優良繁殖雌牛の導入や後継牛の保留

農家が長門市の優良繁殖雌牛導入事業を活用する際に、対象牛の評価を行い10頭の優良雌牛を導入しました。また、優良後継牛の保留を希望する農家に対しても発育状況や体型等を確認し14頭の保留を進めました。

#### (5) 第70回山口県和牛共進会の取組

長門地域の代表として、種牛の部に5頭を出品しました。

#### (6) 「長門市畜産振興計画」の策定支援

「長門市畜産振興計画」策定委員会へ参画し、計画策定の支援を行いました。また、具現化に向けた施設整備を行うため、先進地視察に同行しました。



第70回山口県和牛共進会の様子



先進地視察(長崎県壱岐市)



### 第3 需要に的確に応える生産力の増強

#### 【 需要のある農畜産物の結びつき強化・生産拡大 】

## 長州黒かしわの生産拡大とブランド力向上

### 1 考え方

長門地域では93万羽の肉用鶏が飼育され、県内の64%を占める主要な生産地帯となっています（R5.2.1）。

山口県オリジナル地どりである「長州黒かしわ」は、県内や首都圏において高評価を得ており、今後も生産拡大を支援し、ブランド化を推進します。

### 2 令和4年度の取組

#### (1) 生産拡大への取組

令和4年度の長門市での出荷羽数は21,239羽と県内の58%を占めています。

#### (2) 安心・安全な畜産物供給

飼料自給率60%以上となる長州黒かしわ専用飼料について農林総合技術センターと連携して飼料設計に関する助言等を行いました。今年度は、飼料に混合する大豆の加熱の必要性について調査するとともに、発酵鶏ふんを活用した大豆の低コスト栽培並びにそれを飼料に混合する取組について意見交換をしました。さらに肉質の高位平準化、品質確認のため出荷時の剪断力価のモニタリングを行いました。

#### (3) ブランド強化に向けた取組

試験研究の推進

農林総合技術センターと連携して、長州黒かしわのブランド力向上につながる新たな試験研究（高品質流通技術の開発に向けた研究等）に取り組みました。



長州黒かしわ



非加熱大豆給与試験

### 第3 需要に的確に応える生産力の増強

#### 【 需要に応える木材供給力の強化 】

## 効率的な素材生産システムの構築

### 1 考え方

伐期を迎えた森林資源の旺盛な需要に対応するため、生産性の高い素材生産システムを構築します。

### 2 令和4年度の実施

#### (1) 新しい林業に向けた経営モデル実証事業の取組

木材供給力を高めるには、大型高性能林業機械を活用した効率的な素材生産システムや、スマート林業技術の現場実装に向けた取り組みが必要です。

地域林業の司令塔である（一社）リフォレながとは、林野庁公募事業に応募し、全国10箇所の一つとして採択され、ICTハーベスタを活用した低コスト素材生産などの実証試験を行い、効率性、有効性が確認されました。

本実証事業は、令和5年度も実施されることから、引き続き、リフォレながと等と連携し、検証結果を市や事業者等と共有することで、現地に適合する効率的な素材生産システムを構築し、素材生産の増大を図ります。



ICTハーベスタによる造材作業（三隅地区）



スマートグラスによる単木情報の把握（三隅地区）

### 第3 需要に的確に応える生産力の増強

【水産資源の適切な管理による漁業生産力の向上】

## 水産資源の適切な管理による漁業生産力の向上

### 1 考え方

安定的な種苗生産・放流や小型魚保護等の資源管理の取組を通じ、キジハタやアワビ等、需要がある魚種の生産増大を図るとともに、水産生物産卵場や幼稚仔育成場となる藻場等において生産増大に資する取組を支援します。

### 2 令和4年度の取組

#### (1) 重要魚種の種苗放流実施・資源管理指導

キジハタやアワビ、ヒラメをはじめとした需要のある魚種について種苗放流の指導・支援を行いました。

【種苗配布数：キジハタ 38 千尾、アワビ 113.5 千個、アカアマダイ 24 千尾ほか】

#### (2) 沿岸域環境改善支援

関係機関で連携し、漁業者を中心とした活動組織が行う藻場の保全・再生活動の取組を支援しました。

【活動組織（5 組織）：通、長門東、黄波戸、立石、津黄】



種苗放流



藻場再生活動(母藻設置)



## 第4 生産や地域を支える基盤整備・防災力強化

### 【生産基盤の整備】

## 水田高機能化対策の推進

### 1 考え方

集落営農法人等中核経営体への農地集積・集約化を図り、効率的な農業生産を行うため、水田高機能化を推進します。

### 2 令和4年度の実績

高収益作物等の畑作物の導入を図るため、集落営農法人、認定農業者等に対し、水田高機能化事業の誘導等に向けた検討を行ってきました。

水田高機能化対策としては、油谷の本郷地区において、水田高機能化を含む、区画整理工事を実施し、日置の黄波戸口地区において、水田高機能化にかかる暗渠排水工事を実施しました。

【水田高機能化実施 A=8.0ha】



暗渠排水の施工状況  
(黄波戸口地区)



暗渠排水の施工状況  
(本郷地区)

## 第4 生産や地域を支える基盤整備・防災力強化

【 生産基盤の整備 】、【 防災・減災機能の強化 】

### 生産基盤の整備・防災減災機能の強化

#### 1 考え方

漁業生産力強化を図るための基礎となる生産基盤を計画的に整備するとともに、多面的機能の維持・発揮対策や近年多発する大規模な自然災害に備えた防災・減災機能の強化対策を実施します。

#### 2 令和4年度の取組

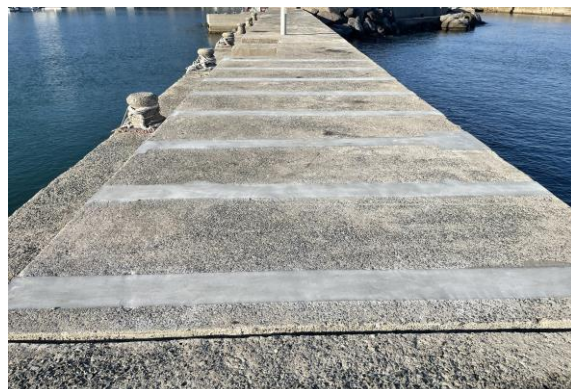
##### (1) 生産基盤の整備

漁港施設の機能を保全するための必要な対策として、防波堤補修等を行い、施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの平準化を図りました。

【仙崎漁港：物揚場補修等、川尻漁港：防波堤補修等】



仙崎漁港物揚場基礎補修



川尻漁港防波堤補修

##### (2) 防災・減災機能の強化

高潮、波浪等による浸水災害を未然に防ぐため、海岸保全施設の新設又は改良を行いました。

【仙崎漁港（白潟）：測量・調査・設計】

快適で潤いのある漁港環境の形成に向け、漁港海岸を整備しました。

【仙崎（後原）海岸：環境整備】



## 第4 生産や地域を支える基盤整備・防災力強化

### 【 鳥獣被害防止対策の強化、対策技術の普及 】

## 鳥獣被害防止対策の強化の推進

### 1 考え方

条件不利な中山間地域において、農村地域環境の維持・保全のため、獣害防止柵など、きめ細やかな整備を推進します。

### 2 令和4年度の実績

油谷地域（本郷地区）において獣害防止柵 H=1.8m、L=約 1.8 k m、三隅地域（豊原平野地区）において獣害防止柵 H=1.8m、L=1,436m、日置地域（農士園地区）において獣害防止柵 H=2.0m、L=3,200mを整備するほか、各地域において鳥獣被害対策研修会を実施しました。



獣害防止柵の整備(農士園地区)



鳥獣被害対策研修会

## 第4 生産や地域を支える基盤整備・防災力強化

### 【 やまぐち森林づくり県民税の活用 】

## やまぐち森林づくり県民税を活用した森林の整備

### 1 考え方

豊かな森林づくりの一層の推進に向け、荒廃森林や繁茂竹林の整備をはじめ、中山間地域の振興に向けた里山の整備など、県民税関連事業の確実な実施を図ります。

### 2 令和4年度の取組

#### (1) やまぐち森林づくり県民税関係

森林整備効果が大きい「森林機能回復事業」と「繁茂竹林整備事業」に取り組み、人工林の強度間伐や繁茂竹林の伐採を実施するなど、荒廃森林の整備を推進しました。

長門市が実施する「地域が育む豊かな森林づくり推進事業」では、仙崎地区の植栽木保全活動や青海島、三隅地区の修景伐採、俵山地区の繁茂竹林伐採等に対して支援を行いました。

また、森林ボランティア団体の里山ローズクラブが実施する「地域森林づくり活動強化対策事業」では、里山整備活動等に対する支援を行いました。

なお、県民税事業の周知活動については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各地のイベントが中止になる中、公共施設でのパネル展示等を行うほか、地元メディア（ほっちゃテレビ、FMアクア）を通じて、県民税関連事業の実績や事業周知を行いました。



強度間伐の実施（油谷地区）



里山整備活動（俵山地区）

## 第4 生産や地域を支える基盤整備・防災力強化

### 【 多面的機能の維持・発揮 】

## 多面的機能支払制度の推進

### 1 考え方

農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮による美しい農村環境を創造するために、多様な地域住民の参画による農地や農業用施設などの保全活動を推進します。

### 2 令和4年度の実績

「多面的機能支払交付金」に取り組む組織の活動を支援し、地域ぐるみで農地・農業用施設等の保全管理への農地維持支払、資源向上支払（共同活動）を支援しました。

【11 活動組織 A=1,733ha】

老朽化が進む農業用施設などの長寿命化を図る補修等の取組を行う組織に対し、資源向上支払（長寿命化）の支援を行いました。

【7 活動組織 A=1,629ha】

また、組織の広域化・体制強化として、活動組織の広域合併に向けた支援を継続して行っています。



水路管理（農地維持活動）



農道整備（資源向上活動）



## 第4 生産や地域を支える基盤整備・防災力強化

### 【 多面的機能の維持・発揮 】

## 山口型放牧の推進

### 1 考え方

山口県で誕生した山口型放牧は1985年頃から長門市油谷の棚田地帯において、牛舎に隣接する水田に黒毛和種の繁殖牛を放牧したのが始まりで、「水田放牧」と呼ばれる放牧体系が基礎となっています。主に省力化や飼養コスト削減のため取り組まれていますが、耕作放棄地の解消や鳥獣害防止効果等も確認されています。

このため、畜産振興のみならず農地保全や良好な景観の形成などの多面的機能を維持・発揮されるよう山口型放牧の取組拡大を図ります。

### 2 令和4年度の取組

山口型放牧取組農家に対して、より安全に放牧を行うため、事故防止の徹底について文書及びチェックリストにより指導を強化しました。



山口型放牧の様子①



山口型放牧の様子②



## 第4 生産基盤の整備と資源保全・有効活用

### 【 防災・減災機能の強化 】

## ため池の整備の推進

### 1 考え方

ため池の決壊等による災害を未然に防止することにより、安心・安全な暮らしのできる農村づくりを目指すため、地域住民の理解と協力を得ながら、危険ため池の定期的な点検を行い、計画的な防災事業を推進します。

### 2 令和4年度の取組

ため池の日常的管理及び緊急時の対応について、ため池管理者などに周知等を図るため、ため池点検パトロールを梅雨時期前の5月に実施しました。

また、継続地区1地区の危険ため池の改修を行ったほか、新規地区3ヶ所の危険ため池のリスク除去（切開）を行い、防災減災の推進を図りました。

【ため池整備 4ヶ所】



ため池点検パトロール  
(桂河内2ため池)



ため池の切開  
(葉山地区)